

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

広報とえだ

Soeda
Public
Relations



添田町立津野小学校
休校式

創設149年



APL.2022

4

No.726

●津野小学校で休校式

創立149年の添田町立津野小学校。在校生や卒業生、地域の関係者の皆さんが集まり、涙と笑顔の休校式典が行われました。(詳細は6ページ)



令和4年度
第1回
田町

施政方針

3月に行われた定例議会会で、寺西町長が発表した本年度の施政方針の中から、町の目指すべき方向性と重要施策を抜粋してお伝えします。

はじめに

未だ取束のない新型コロナウイルス感染症、医療関係、高齢者福祉施設関係者の皆さまを始め、対応頂いている多くの皆さま、そして、たび重なる様々な自粛要請の中で感染拡大防止にご協力を頂いている町民の皆さまに、心より感謝申し上げます。国の指針によるワクチン接種対象の拡大により新たに5歳から十一歳までの児童に対する接種も加わりました。接種向上のための対策も取り、一日も早く町民の皆さまが安心して生活できるよう全力を傾注して取り組んでまいります。少子・高齢化、人口減少が進む本町の財政運営は、依然として自主財源に乏しく、厳しい財政運営となっております。このような中、町としては国などのコロナ対策を注視するとともに地域経済の振興策を推進し、感染防止と経済活動

の両立を図っていかねばなりません。限られた財源の中で効率的かつ効果的に施策を展開し、そのうえで施策の優先度をしっかりと認識しつつ、行政ニーズを的確に捉えた財政運営に努めていきます。

【定住・愛着】

住みたい。住み続けたいまち――

▼空き家対策・移住定住

地域おこし協力隊空き家対策推進員によるサテライトオフィスやワーケーションスペースの活用可能性検討や空き家活用イベントなどを行い、移住定住施策と空き家解消施策を連動させ、推進します。

▼町営住宅

朝日ヶ丘団地は第3期工事へと移り、令和5年度中の完成に向け取り組みます。他の団地についても快適に暮らせる住環境維持のため、戸別

修繕や補修・改修工事を行います。

▼歴史文化遺産継承

英彦山は、本町の歴史、観光の核です。英彦山中岳山頂の上宮は、経年劣化と近年の台風などから損傷が著しく、早急な対応が必要となっております。上宮所有者の英彦山神宮は文化庁の補助事業を活用して修復に向けた工事に着手することとしており、町としても添田町文化財保護条例に基づき支援を行います。

【稼ぐ・関係人口】

人が集まり賑わうまち――

▼農林業振興

農地・農業用水などの資源の保全管理や環境の保全については、農業者個々の力だけでは限界があるなか、第6次総合計画に掲げる「みんながまちづくり」を合言葉に地域全体で取り組むことが重要であり事業の推進にあたっては、国の各種交付金を

活用し、持続可能な農村社会の構築を行います。また、森林荒廃の未然防止と荒廃した森林の再生を図るため、間伐や作業路の整備、植栽による森林の循環が適正に行われる森林整備に積極的に取り組みます。

▼観光振興

道の駅遊舎ひこさんは、新鮮な野菜をはじめ農産加工品や特産品を求めて町内外から人々が集まる「賑わいの拠点」です。現在、JR日田彦山線BRTの運行開始に向けて、県による渋滞緩和のための駐車場拡張整備が進められており、道の駅遊舎ひこさんを観光と物産振興を兼ね備えた魅力ある商業複合地域として、集客力の向上を図ってまいります。また、英彦山スロープカーの安全運行を維持するため、車両更新を行います。

▼商工業振興

商工会や関係機関と連携し、起業を目指す人や既存事業者の経営革新

などに対し「創業等支援補助金」などを活用し、引き続き件走型による支援を行います。

【支え合い・助け合い】

誰もが孤立せず健康に過ごせるまち――

▼保健事業

健康への意識づくり、健康診断の受診勧奨を図ることにより、住民皆さんが健康でいきいきと暮らせるよう充実した健康寿命を延ばす保健事業を実施します。現在進めていますワクチンの3回目接種は、発症予防・重症化予防の要であり、一日も早く希望する人への接種を進めます。

▼予防事業

3回目の新型コロナワクチンの接種をはじめ様々な感染症に対し、効果的な各種予防接種事業を推進します。新たな事業としましては、^{*}小児・AYA世代が患者者に対する在宅療養生活支援事業、骨髄等移植やドナー登録の推進を目的とした助成事業などを実施します。

▼地域福祉

町における地域共生社会の実現のため、昨年度に策定した「第2次地域福祉計画」に基づき、皆さん一人一人が、その人らしく生き生きと暮らせるように、福祉課題への対応を図るため、地域における支え合いや助け合いを中心とし

た地域福祉の推進につながる施策を実践し、地域福祉施策を総合的に推進します。

【安全・安心】

安全に暮らせるまち――

▼防災

大雨などの災害発生が予測される場合、皆さんに早期に避難行動を促すためには、情報を速やかに確実に伝達することが重要です。昨年度整備しました280メガヘルツ帯戸別受信設備「防災ラジオ」の町内全世帯への完全配布を目指し、引き続き取り組みます。

▼水道事業

水道施設をはじめとして、特に水道管の老朽化が深刻な問題となっていることから、昨年度に策定した「持続」「安全」「強靱」を柱とした「添田町水道ビジョン」に沿った中長期の財政取支計画を策定し、安全で安心な水道水を将来にわたって安定して供給するため、老朽化した水道施設や水道管の更新事業を推進します。

【子育て・教育】

子育て支援。教育が充実したまち――

▼学校教育

国のGIGAスクール構想による

タブレット端末、校内LANの整備に加え、電子黒板、実物投影機などのICT機器を整備しました。今後も積極的にICTを活用した授業展開に取り組みます。また、教職員のICT活用指導力向上や自宅学習における活用方法についても取り組みます。

【関心・自立】

自立と協働のまち――

▼協働のまちづくり

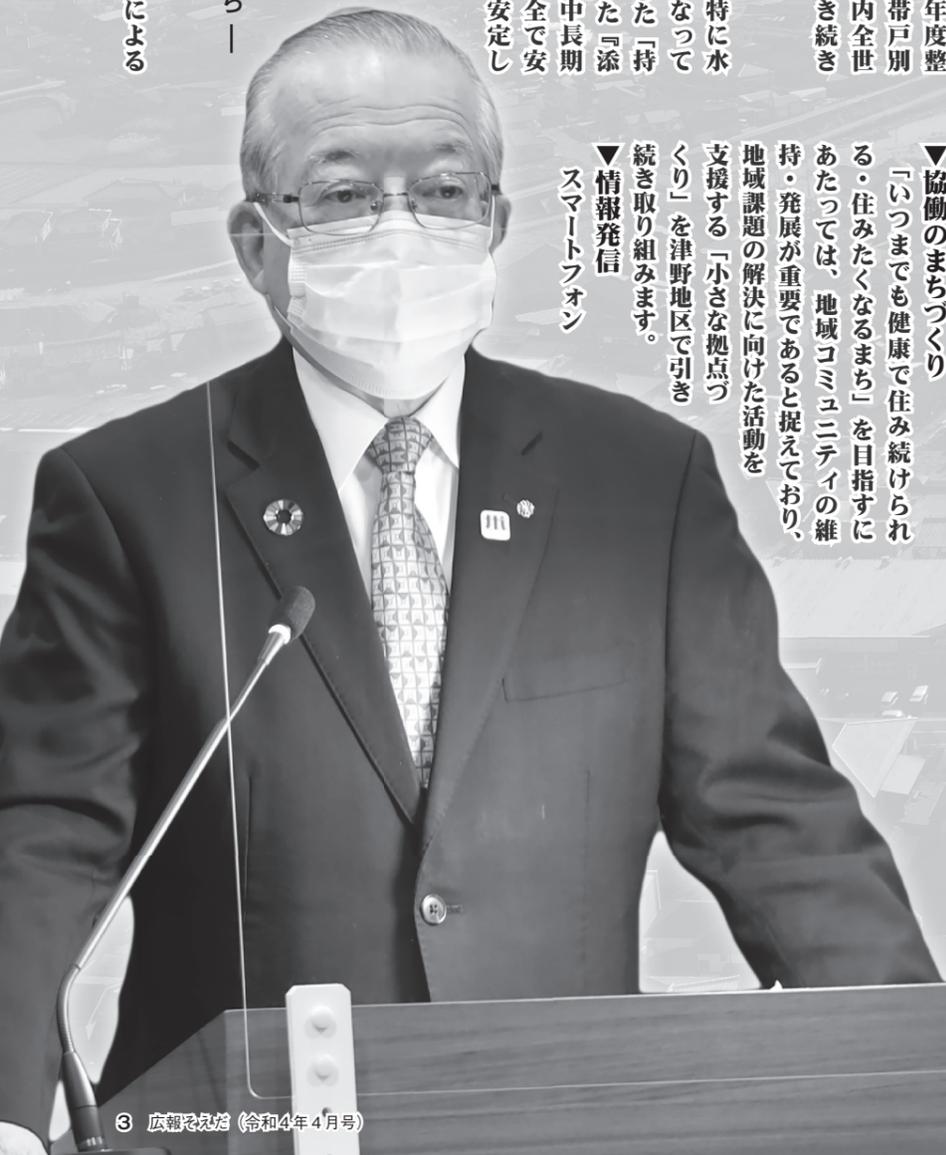
「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」を目指すにあたっては、地域コミュニティの維持・発展が重要であると捉えており、地域課題の解決に向けた活動を支援する「小さな拠点づくり」を津野地区で引き続き取り組みます。

▼情報発信

スマートフォン

への対応など、リニューアルが必要なた町ホームページについて、令和5年度中の更新、運用開始を目指し企画検討を行います。

^{*}小児・AYA世代は0歳～15歳までの世代。AYA世代は、Adolescent & Young Adult(思春期・若年成人)のことをいい、15歳から39歳の世代。小児に好発するがんと成人に好発するがんがともに発症する可能性がある年代で、肉腫などAYA世代に多い特徴的ながんもあります。



令和4年度 予算

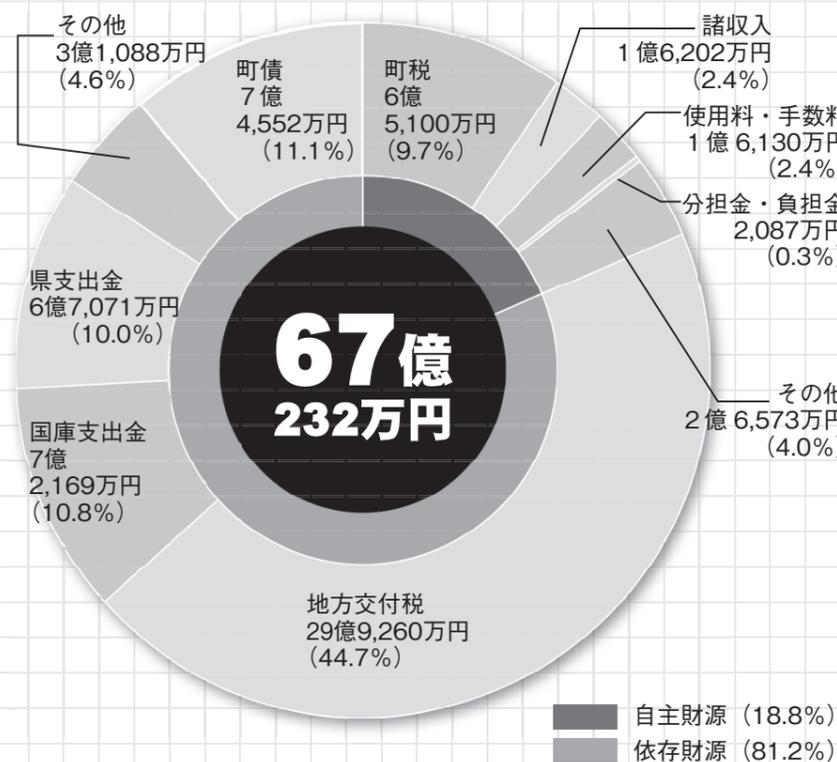
総額 **83億4793万円**の
まちづくりリスタート

「みんなでまちづくり」を合言葉に「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」を目指し、一般会計67億232万円、特別会計16億4561万円、予算総額83億4793万円の令和4年度まちづくりが始まります。

歳入 歳入は、皆さんの税金や使用料・手数料などによる自主財源が全体の18.8%、国や県に頼った依存財源が81.2%と本年度も財源の多くを依存財源が占める財政構造となり、厳しい財政運営状況が続いています。

自主財源の核となる町税は、コロナ禍の影響による経済状況の悪化に伴う減収を見込んだ前年度に比べ、1632万円の増額となっていますが、法人町民税の減少など厳しい状況が続いています。町では、自主財源を確実に確保できるよう、本年度も公平公正な受益者負担を基本方針に、税などの徴収に努めます。

▶一般会計歳入 (前年度比 + 3.3%)



用語の説明

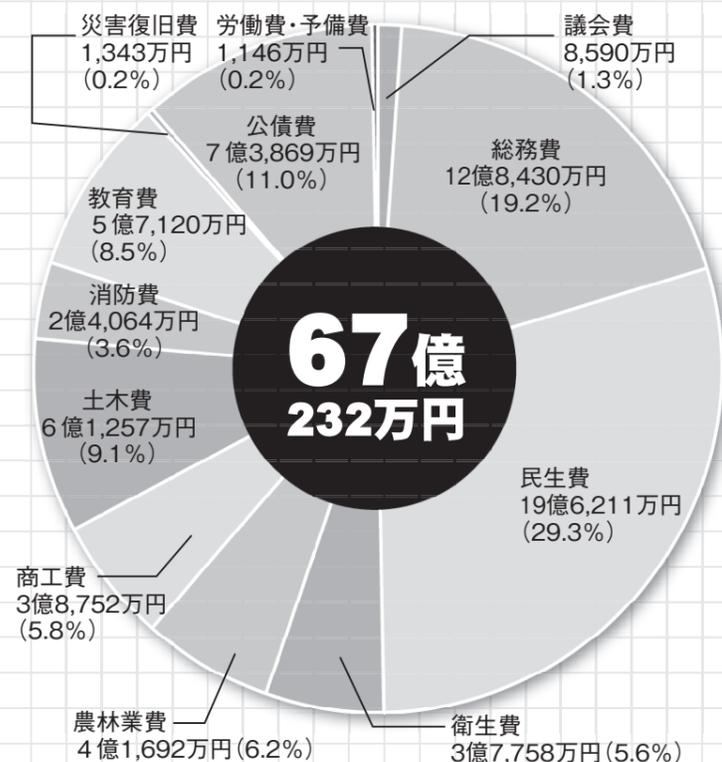
- 【歳入】
 - ▼町税：町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など、皆さんに納めていただく税金
 - ▼地方交付税：市町村の財力に応じて国から交付されるお金
 - ▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金
 - ▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます
 - ▼町債：町の借入金で償還が2年以上にわたるもの
- 【歳出】
 - ▼議会費：議会運営の経費
 - ▼総務費：行政全般の事務などに関する経費
 - ▼民生費：障害者や高齢者に対する福祉や子育て支援などの経費
 - ▼衛生費：環境保全や健康づくりの支援などの経費
 - ▼農林業費：農業や林業の振興のための経費
 - ▼商工費：商工業や観光の振興のための経費
 - ▼土木費：道路や河川の整備、町営住宅建設などの経費
 - ▼消防費：消防活動や災害対策などの経費
 - ▼教育費：学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどの経費
 - ▼公債費：過去の町債を返還するための経費

歳出 新型コロナウイルス感染症対策は、追加接種事業をはじめ、り患者に対する見舞金支給事業など、国や県と連携し機動的かつ、きめ細やかな対応を行います。

平成29年度より不通となっていたJR日田彦山線添田駅～夜明駅間のBRT化工事が本格的に進められます。町は、添田駅前ロータリー、落合地区の防災拠点となる彦山駅舎やその周辺の整備工事に着手します。併せて道の駅歓遊舎ひこさん周辺に、体験型コンテンツの自然共生型アウトドアパークの整備を進めます。

減少する歳入を有効活用し効率的で効果的に住民の皆さんが安全、安心に楽しく暮らせる、魅力あるまちづくりを行います。

▶一般会計歳出 (前年度比 + 3.3%)



▶特別会計 16億 4,561万円

前年度に比べ 6,190 万円の増額 (+ 3.9%)

特別会計名	当初予算額	前年度比
国民健康保険事業勘定	12億3,525万円	+ 5.2%
後期高齢者医療	1億8,583万円	+ 2.3%
住宅新築資金等貸付事業	118万円	▲ 7.8%
バス事業	2,245万円	+ 0.1%
水道事業	2億90万円	▲ 1.3%

主な事業

令和4年度

添田町第6次総合計画に掲げる「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」を目指し、2年目の歩みを始める添田町。令和4年度に推進する主な事業を紹介します。

みんなでまちづくり推進事業

▶ 249 万円 (総務費)

協働のまちづくりを推進するための仕組みづくりの確立や、プロジェクトチームによるイベントなどを実施します。

彦山駅前整備事業

▶ 1 億 347 万円 (総務費)

防災拠点施設となる彦山駅駅舎を建設します。併せて、駅前広場の整備工事を実施します。

自然共生型アウトドアパーク整備事業

▶ 1 億 5,924 万円 (総務費)

道の駅歓遊舎ひこさんを中心とした賑わいの創出や地域振興のため、自然共生型アウトドアパークの整備を行います。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

▶ 2,241 万円 (衛生費)

新型コロナワクチン接種の3回目追加接種や、5～11歳の小児接種を実施します。

英彦山スロープカー車両更新事業

▶ 2 億 4,515 万円 (商工費)

平成17年の開業以来更新されていない花駅～神駅間のスロープカー車両3台を、今後の安全運行のため更新します。

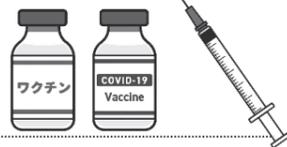
小中学校建設事業

▶ 1 億 3,619 万円 (教育費)

令和7年4月開校予定の小中連携校の実設計(学校の詳細な設計図や仕様書の作成)を実施します。

●追加(3回目)接種、および小児(5歳から11歳)接種が始まりました

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種



町が実施する新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は、1月30日から追加(3回目)接種が始まりました。さらに、5歳から11歳を対象とした小児接種も3月12日から始まりました。ワクチン接種は、感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすことを目的に行っています。接種費用は無料で、予約方法はWEB、LINE、電話から行えます。また、12歳から18歳未満の人の追加(3回目)接種は、4月上旬から対象者に順次接種券を郵送します。

追加(3回目)接種

- 対象者
2回目の接種日から6か月が経過した18歳以上の人
- 接種日時
▷集団接種 5月中旬で終了予定です
▷個別接種 町内医療機関で実施中です

接種に関するお願い

町では、感染、重症化予防のために積極的な接種をお願いしていますが、ワクチン接種は、ご本人の意思に基づき行われるものです。周囲の人への接種の強制、接種を受けていない人への偏見や差別的な取り扱いなどが生じないよう、皆様のご理解をお願いします。

ワクチン接種証明書はスマホアプリで!!

- スマートフォン専用アプリで新型コロナワクチン接種証明書の申請・発行ができるようになりました。
- 申請に必要なもの
・スマートフォン ・マイナンバーカード
・パスポート(海外用接種証明書発行の場合のみ)

5歳~11歳の接種

- 対象者
添田町に住民登録がある5歳から11歳までの人
- ワクチンの種類
小児用ファイザー社製ワクチン
- 接種回数
2回
※1回目接種から3~6週間を空けて2回目を接種します。
- 接種日時
▷集団接種 1回目接種は5月14日(土)、5月21日(土)が最後となります
▷個別接種 集団接種終了後は町内医療機関での接種を予定しています。詳細は決まり次第、お知らせします



●アプリのダウンロードはコチラから



ワクチン接種状況のお知らせ

対象人口		接種状況 ※ ()内は接種率			備考
		1回目終了	2回目終了	3回目終了	
65歳以上	4,054人	3,820人 (94.2%)	3,801人 (93.8%)	3,025人 (74.6%)	
12~64歳	4,606人	3,756人 (81.5%)	3,712人 (80.6%)	1,127人 (24.5%)	3回目終了は18歳以上の人数です
5~11歳	430人	80人 (18.6%)	0人 (0%)	0人 (0%)	
合計	9,090人	7,656人 (84.2%)	7,513人 (82.7%)	4,512人 (45.7%)	

※接種状況は3月27日現在の情報です。



開校から149年、卒業生4250人の感謝をこめて

ありがとう 津野小学校

3月末で休校した津野小学校で3月17日、最後の卒業式が行われました。令和2年度までの卒業生は4246人を数える津野小。今年は4人が加わり、最後の卒業生となります。卒業式では神崎育子校長が一人ひとりに卒業証書を手渡した後、卒業生を「飛行機が高く飛ぶには向かい風が必要。私たちも同じで、向かい風の時こそ高く飛躍できます。これから先、不安な時や自信がない時こそ高く飛びたいチャンスです。その時こそ津野小を思い出し、がんばってください」と励ましました。式の最後には卒業生を代表して吉竹日菜莉さんが「6年生4人でいろいろ考え助け合っことができました。津野小ではピザ窯をつくった、焼きたてのチーズたっぷり美味しいピザを食べたり貴重な経験もたくさんできました。ここで学んだことを生かし、一つ一つの出会いを大切にします。津野小、さようなら。ありがとう」と感謝を述べました。3月末で休校した津野小は、令和7年3月で他の町内小学校4校とともに閉校となります。

津野小学校のあゆみ

- 明治6年 下津野小学校が誕生
- 明治7年 上津野小学校が誕生
- 大正6年 上・下津野小学校が合併し津野尋常高等小学校本校と分校を設置
- 昭和16年 津野国民学校と改称
- 昭和22年 校名を津野小学校と改称
- 昭和30年 添田町と津野村が合併し、添田町立津野小学校と改名
- 昭和31年 津野小学校の校旗調整
- 昭和39年 校歌制定発表会開催
- 昭和46年 油木ダム建設により校舎を新築し移転
- 昭和47年 上津野分校を閉校し本校に統合
- 平成4年 山村留学制度実施
- 平成22年 山村留学休止
- 平成25年 添田町小規模特認校制度により小規模特認校に認定
- 令和2年 コロナウイルス対策緊急事態宣言のため臨時休校(4/13~5/31)
- 令和4年 添田町立津野小学校休校式

教育委員会からのお知らせ

- ▶校納金の口座振替を始めます
4月から町内小中学校の校納金(給食費・教材費・校外活動費など)の口座振替を始めます。
- ▶小学校の給食調理業務委託を始めます
中学校と同じように、小学校でも4月から給食調理業務委託を始めます(委託業者:葉隠勇進株式会社)。これまでと変わらず学校で調理員さんが美味しい給食を作っていきます。

☎ 教育委員会学校教育課(☎82-5963)



3月19日、津野小学校OB、OGや地域住民が集まり津野小学校休校式が開かれました。昔の写真や文集の展示もあり、参加者は目頭を押さえ思い出話に花を咲かせていました。

添田町タクシー利用助成事業

タクシー利用助成は毎年申請が必要です

75歳以上の人を対象とした「タクシー利用助成券」の交付を受けるためには、毎年申請が必要です。(役場から郵便などで申請の案内はしていません)

●対象 添田町に住民票がある75歳以上の人(同居の家族がいても申請できます)

※次の場合は利用できません。

- ①運転免許証を持っている
②町税、使用料などに滞納がある

●助成金額 1回の乗車につき300円

●必要なもの 印鑑(代理人の場合は本人と代理人の印鑑)、本人確認ができるもの(健康保険証など)、登録証(すでに登録している人のみ)

※詳しくは問い合わせください。

☎ 役場まちづくり課まちづくり推進係 (☎ 82-5965)



国保事業の円滑な運営のために

添田町国民健康保険事業の運営に関する協議会委員を公募します

町では、国民健康保険(以下、国保)の運営に関する重要事項を審議する「国民健康保険事業の運営に関する協議会」を設置しています。今回、その委員のうち被保険者を代表する委員(4人)を次のとおり公募します。

●応募資格 次の①～⑤をすべて満たす人

- ①令和4年4月1日時点で、20歳以上71歳以下の国保の被保険者
②納期限の到来している国保税および町税などを完納している世帯に属する人
③町の他の附属機関の委員でない人
④町の職員または町議会議員でない人
⑤過去に本協議会委員経験のない人

●任期 令和4年6月1日～令和7年5月31日

●活動内容 年4回程度開かれる協議会に出席し、国民健康保険について被保険者の立場から意見や提言を行う。出席者には、規定による報酬を支払う

●応募締切 4月28日(日)必着

●応募方法 保険年金係(4番窓口)または町ホームページで取得した申込書に必要事項を記入し、持参または郵送で提出(書類審査後、必要に応じて面接あり)

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)

4月1日から変更開始です

印鑑登録証が手帳型からカード型に変わります

4月1日から印鑑登録証が手帳型からよりコンパクトで丈夫なカード型のものになります。現在の手帳型印鑑登録証は令和7年3月31日まで使えますが、手帳型印鑑登録証を役場庁舎1階③番、住民課戸籍住民係窓口にて持参していただくと、無償でカード型に差し替えます。



●差替時に必要なもの

▷手帳型印鑑登録証

▷本人確認書類(代理の場合は代理人の本人確認書類)
※手帳型印鑑登録証を持参できない場合や、紛失した場合は再交付手続となり、登録印や再交付手数料が必要となります。詳しくは問い合わせください。
※カード型印鑑登録証へ取り急ぎ差し替えの必要はありませんが、役場にご用の際は、印鑑登録証の差し替えにご協力をお願いします。

☎ 役場住民課戸籍住民係 (☎ 82-1233)

春の交通安全運動週間

交通事故死ゼロを目指しましょう

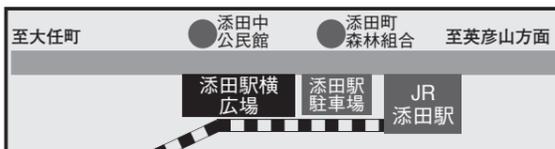
春の交通安全運動は、皆さん一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけてもらい、道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより交通事故を減らすことを目的に行われます。期間中は、街頭キャンペーンや、小中学生の登校時に街頭指導などを行います。

●期間 4月6日(日)～4月15日(金)

●街頭キャンペーン 4月12日(日)

午前7時30分～午前8時15分

※街頭キャンペーンはJR添田駅横広場、添田郵便局前交差点、新城交差点で行います。JR添田駅横広場では、田川警察署と共同で交通規制を行い、大任町方面へ向かう車両を広場に誘導し、啓発を行います。



☎ 役場防災情報管財課防災安全係 (☎ 82-4002)

全国瞬時警報システム放送訓練

Jアラートの放送訓練をします

大 災害や緊急事態発生時に備え、全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用した自動放送訓練が全国一斉に実施されます。町でも皆さんに配布した防災ラジオや、町内に設置している防災無線のスピーカーから下記の内容が放送されますので、ご理解とご協力をお願いします。次の日程で行うのは放送訓練です。特に皆さんが行動する必要はありません。



●全国瞬時警報システム(Jアラート)放送訓練

- ▶とき 5月18日(水) 11時頃
8月10日(水) 11時頃
11月16日(水) 11時頃
2月15日(水) 11時頃

▶放送内容

- ① 開始チャイム
②「これはテストです」
③「こちらは防災添田町です」
④ 終了チャイム

【屋外スピーカーから合成音声での放送が始まります】

4月から防災無線屋外スピーカーから防災ラジオと同じような合成音声(コンピュータ調)での放送が始まります。今までと同じ録音音源(肉声)での放送も行われますが、Jアラートや建物火災などの緊急放送はデジタル化され、合成音声で放送されます。



防災ラジオは屋外スピーカーの放送が聞こえにくい場合でも屋内で放送が聞かれ、聞き直しもでき、大変便利です。無償で貸し出していますので、まだ受け取っていない家庭は、問い合わせください。

☎ 役場防災情報管財課防災安全係 (☎ 82-4002)

国民年金保険料の納付は割引制度がお得です

国民年金保険料額が16,590円に変わります

令和4年度の国民年金保険料額は、月額16,590円です。支払い方法によってお得な割引制度(最大1か月あたり660円)がありますのでご利用ください。各月納付や口座による翌月末振込以外の納付方法で保険料を納めると割引を受けることができます。お得な割引制度については、日本年金機構のホームページを確認、または役場住民課保険年金係に問い合わせください。

●学生納付特例制度

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生は一般的に所得が少ないため、学生専用の年金免除制度があります。

【手続きが必要な学生】

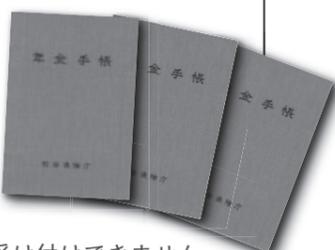
- ①国民年金に加入しており、免除申請を行っていない
②学生免除をしているが、継続申請のハガキをなくした、または提出していない

【手続きの際の注意事項】

・本人の学生証(学生である期間がわかるもの)または在学証明書が必要です。代理の場合は、代理人の身分証明書と学生の印鑑(認印可)が必要です

・申請は4月1日以降でないと受け付けできません

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)





30年を超える読み聞かせ活動を評価 青少年アンビシャス運動功労者表彰

第19回青少年アンビシャス運動参加団体表彰の個人表彰で添田町虹の会代表の竹村千代香さん（伊原）が県知事から表彰され、2月22日、寺西町長に報告に訪れました。青少年アンビシャス運動は、豊かな心や幅広い視野を持つ、たくましい青少年の育成を目指す県民運動です。竹村さんは読書団体の虹の会を立ち上げる前から30年以上、児童生徒や高齢者へ読書の楽しさを伝える活動を行っていることなどが評価されての表彰となりました。「自分が楽しいことを長く続けられ、このような表彰を頂き光栄です」と竹村さん。虹の会では、児童生徒への読み聞かせのほか、布の絵本作成なども行っています。興味、関心のある人は、町立図書館（82-4800）まで問い合わせください。

↑長年の活動が評価され、表彰を受けた竹村さん④と寺西町長⑤、高瀬教育長⑥



『読解力』は親が子どもに残せる一番の宝物 津野小学校休校記念講演会

津野小学校で、本のソムリエとして活躍中の団長さんを講師に休校記念講演会が開かれました。団長さんは「すべての原点は読書にある。本に触れ、『読解力』を身につけている



↑講演会の最後で絵本の読み聞かせを行う団長さん

子は、本の知識を自分のものにすることができる。ただ、子どもは大人の理屈、一方的なものを嫌う。子どもと一緒に本を読む、勉強するといった環境を作ることが大事」と話していました。

6年後の自分へ、届けメッセージ 添田中学校立志式

将来の夢や希望に向かうための決意を記した手紙「二十歳のキミへ」を発表する添田中立志式が2月25日、役場町長室で行われました。2年生67人を代表して松嶋大翔さんら6人が「将来の夢は決まっていないが、一つ一つできることを頑張る」などそれぞれ決意を表明しました。この手紙は6年後に本人へ手渡されます。



↑2年生を代表して、それぞれが決意を表明しました

地域に寄り添った50年の歴史に幕 津野生活改善センター閉館式

津野生活改善センターの閉館に伴い、上津野行政区主催による閉館式が3月20日に行われました。コロナ禍のため、出席者を限定した閉館式には約30人が出席。山村地域農林家の生活改善を目的に設置されたセンターは地区公民館としても長年利用されてきましたが、老朽化などのため3月31日をもってその役目を終えました。



↑記念撮影を行った地域の皆さんと寺西町長

幹の直径が30cmを超える「大径木」を活用 「まるごと大径木～挽く挽く使おう大きな木～」展示会

2月26日から3月6日の間、添田町物産展示場で展示会が開かれました。町の林業関係者などで作る組合「ローカルズ55.LLP(荒木光子代表)」が、製材が難しく活用されにくかった「大径木」の利活用に着手。展示会では日本古来の伝統工法「板倉造り」を再現した見本や強度試験の結果などが紹介され、期間中は多くの人で賑わいました。



↑「板倉造り」には多くの人が興味を示していました

↑上空を飛ぶヘリコプターに「お〜い」と叫びながら、帽子を振る園児たち



福岡県警のヘリコプターに大興奮 落合小学校・くるみ保育園防犯教室

2月22日、落合小学校で防犯教室が行われました。この日は落合小児童やくるみ保育園園児、教職員など約60名が参加し、県警ヘリによる空撮などを実施。県警ヘリが落合小に近づくと、児童や園児たちは大興奮。「皆さんの暮らしの安全を上空から見守っています。困ったことがあったら110番通報してください」とヘリからメッセージが送られるとみんなで帽子を振って応えます。その後、落合小児童は不審者が来校した場合に備えての訓練を行い、くるみ保育園の園児はパトカー乗車体験を楽しみました。

↑ヘリからの光景(福岡県警提供)

素敵だな 悪口言わず 止める人 第28回非行防止標語コンクール

第28回非行防止標語コンクール(田川警察署、少年補導員連絡会添田・大任支部合同部会主催)が行われ、本町と大任町の小学6年生と中学2年生から寄せられた標語228点から10点の入賞作品が決まりました。表彰式は昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響によって中止となりましたが、本町からは小学校の部で中元寺小の林小遥さんの『素敵だな 悪口言わず 止める人』と添田中の内田誉さんの『やめようよ 誹謗中傷 言葉の刃』が最高賞の金賞を受賞。そのほかの入賞者は次のとおりです。▶小学生の部▷銀賞=高瀬結衣さん/津野小▷優秀賞=大森きりりさん/添田小、浦野麗桜菜さん/真木小、梅野湊介さん/落合小▶中学生の部▷銅賞=藪佑也さん/添田中

↑小学生の部で見事、最高賞の金賞に選ばれた中元寺小学校の林さん④



↑金賞を受賞した内田さん④と銅賞の藪さん④に校長室で表彰状を手渡しました

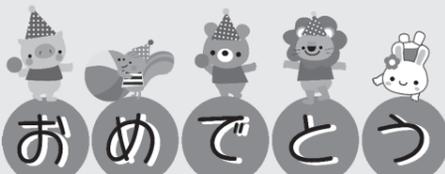
↑卒業式の最後で、在校生、保護者に向け「群青」を合唱する3年生



↑卒業生答辞を述べる浦野さん

多くの人に見守られて、思い出に涙 添田中学校卒業式

3月10日、添田中学校で卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で一昨年の臨時休校に始まり、体育祭をはじめ多くの学校行事や部活動の縮小を強いられた3年生。式では鬼津生徒会長から送辞をうけた後、浦野咲笑さんが3年間を振り返り、「期待と不安に包まれながら入学した日から3年がたちます。たわいもないことで笑いあった日。けんかした日。恋をした日。先生に怒られた日。どんな日もかけがえない思い出です。先生、保護者、在校生の皆さま、今までありがとうございました」と、途中涙で言葉につまりながらも卒業生代表として答辞を述べました。式の最後には3年生全員で「群青」を合唱。在校生や保護者に最上級生として成長した姿を見せてくれました。



上田 絢斗 ちゃん
4月26日生 ③・伊原

日に日にヤンチャになって、やっとなしつおしゃべりできるようになっただね♪3歳おめでとう◎大好き♡



川越 奏輔 ちゃん
4月16日生 ③・新城

食いしん坊の奏ちゃん☆これがらもいっぱい食べて、元気に遊んでね～!!



古河 大輝 ちゃん
4月14日生 ④・旧三崎

だいちゃん4歳の誕生日おめでとう♡いつもあっくと遊んでくれてありがとね♡

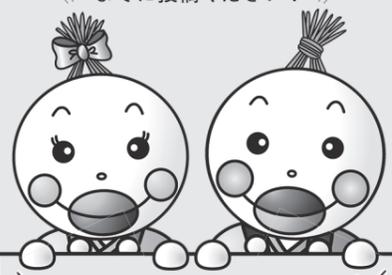


古河 逢輝 ちゃん
4月30日生 ②・旧三崎

あっくん2歳の誕生日おめでとう♡これからもいっぱい食べてね♡

5月生まれは、
4月13日(日)

までに投稿ください!



お誕生日コーナーの
対象年齢を拡大しました

未就学児のお子さんの
写真を募集中です

- ①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方
- ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内)
- ⑧保護者の連絡先を下記アドレスまで送信してください。

送信先

koho@town.soeda.fukuoka.jp

問 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)



江戸時代の地理学者 岡山県から英彦山への旅

前回の歴史まちづくりでは、添田町から別府鉄輪温泉へ旅行に出かけた人の記録を紹介しましたが、今回は添田町を訪れた旅人の記録を取り上げ、町内のどのような場所を訪れ、いかなる感想を持ったのかを探ってみます。



↑多くの旅人も通った参道 (写真は正3年頃)

旅

人の名は古川古松軒(こしょうけん)という地理学者で、享保11(1726)年に備中国下道郡新本村(現、岡山県総社市)で生まれ、天明3(1783)年3月、57歳の時に九州諸国を巡る約6か月の旅へ出かけ、『西遊雑記』という紀行文を残しました。『西遊雑記』は訪れた地域の地図や使われている農機具などの絵も記録されており、当時の人々の生活ぶりを知ることができる貴重な資料です。

出

立日には次の目的地である羅漢寺(大分県津市)までの道のりを山田園生に教わり、園生は「一里ばかり見送り」(二里約4km)をしたようで、古松軒は園生の優しさを感じつつ、添田町を旅立っています。

※1 この石は古松軒が英彦山を訪れる10年前に盗まれたようで、古松軒は世の中に石好きな人がいることを物語の話だと記録しています。

2年ぶりに開催 木もくまつり IN そえだ



NPO 法人アートもん主催の「木もくまつり IN そえだ」が3月12日と13日に英彦山青年の家で行われました。木育がテーマの会場には木の温かみ溢れるおもちゃや遊具、木工体験ができるブースなどがあり、多くの人で賑わいました。



文芸歳時記



【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

野水仙ここに香を留め香を放ち

川の流れに影映しある 五十嵐田鶴

ジェラニウム覆いを取れば冬ごえの

花葉色こく風を透しぬ 福富 廣枝

年明けてオミクロンじわり拡大し

止めようもなく祈るのみなり 荒巻ミサ子

歌詠めずコロナの所為とは言はねども

吾が触角は身動きもせず 大塚 富江

【短歌 投稿】

いくたびも巡りくる春年々に

我は老いゆく酒量減りつつ 独活山強実

定位置に車はあれど主すでに亡く

淋びく〜と風撫でゆく 仲摩 直子

ナツメロを炬燵に入りて一人聞く

画面の歌手も既に逝きたり 櫻木マサ子

感じ方考え方はそれぞれで

げに難しき人の集まり 佐藤 直

【俳句 投稿】

霊水と枝垂桜の眺望かな

寒の梅所かまわず咲きにけり 伊勢村 稔

一本の桜と暮るるケアハウス

島津余史衣 寺本 紀子

清明や木の香すがしき渡り始め 伊井寸美子

春休み靴を鳴らして子らの来る 斎藤智寿子

柔らかき雨にほぐぐる柴木蓮 天野ユキ海

大糸線行けど行けども雪残る 立花 克明

八十路入りあといく歳や春をみん 柳瀬 満子

【川柳 投稿】

生き方は後ろではなく前向きに 原田祥二郎

いい気持ち腹の底から笑ったら 原田 順子

◎5月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

4月13日(日)までに役場総務課に投稿してください。

※投稿1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

問 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)

人の動き

2月末日現在()は前月比

- 人口 9,005人 (-16人)
- 出生 5人
- 男性 4,240人 (-7人)
- 死亡 19人
- 女性 4,765人 (-9人)
- 転入 25人
- 世帯数 4,568世帯 (±0世帯)
- 転出 27人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ/10時~15時)
4月19日(木)、5月10日(金)
- 補聴器相談 (役場ロビー)
4月8日(金) (15時~)、4月13日(金) (13時~)
- 無料法律相談会
(福岡法務局田川支局/13時~16時)
4月12日(金)、5月10日(金)
※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
☎ 法テラス福岡 ☎ 050-3383-5502
- こころの健康相談 (田川保健福祉事務所/予約制)
4月12日(金) (10時~)、4月28日(金) (14時~)
- ☎ 田川保健福祉事務所健康増進課 ☎ 42-9307

警察署からのお知らせ

●ニセ電話詐欺(還付金詐欺)にご注意ください
介護保険料の払戻しがあるなどと連絡を受けてATMで犯人から指示され、お金をだまし取られるニセ電話詐欺(還付金詐欺)が急増しています。被害防止のため、ATMを利用する時は、携帯電話の利用を控えてください。ATMで還付金を受け取る手続きはできません。少しでもお金の話が出たら、電話を切り、すぐに家族や警察に相談しましょう。

2月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
物件事故	12(+1)	26
人身事故	1(±0)	2
死亡者	0(±0)	0
負傷者	1(-1)	2

☎ 田川警察署 ☎ 42-0110

税務署からのお知らせ

●《お酒は二十歳になってから》4月は20歳未満飲酒防止強調月間です
令和4年4月から民法の成年年齢が18歳に引き上げられますが、お酒に関する年齢制限は20歳のまま維持されます。

☎ 田川税務署 ☎ 44-0430

ヤマメ釣り大会中止

毎年4月に開催していました上中元寺ヤマメ釣り大会は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。楽しみにしていた皆さんには申し訳ありませんがご理解とご協力をお願いします。

☎ 上中元寺青年クラブ猪熊さん ☎ 090-1510-4214

協会けんぽ福岡支部 健康保険料率等が決定

令和4年度の協会けんぽ福岡支部の保険料率(健康保険料率、介護保険料率)が改定され、3月分(4月納付分)から変更になります。

- ▼健康保険料率 10.21%
- ▼介護保険料率 1.64%



遠賀川環境保全活動団体 支援助成事業

遠賀川流域で、河川の水質の改善などを目的とした環境保全活動を行う住民団体などに対し、その活動費を助成します。

- ▼対象団体 支流を含む遠賀川流域で活動を行っている、または今後行おうとする会員数5人以上の団体
- ▼対象活動 除草・清掃活動、水質・生物調査、普及啓発活動など
- ※他からの助成を受けている活動は除きます。
- ▼助成対象活動期間 令和4年6月~令和5年1月
- ▼助成内容 上限10万円/1団体
- ▼申込期限 4月22日(金)必着

☎ 北九州市上下水道局水質試験所 ☎ 093-641-5948



あすなる猫 不妊・去勢手術支援事業

福岡県獣医師会では、特定の飼い主のいない猫に不妊・去勢手術の支援を行っています。インターネットでの申込で、県北地区から抽選で決定され、当選者へはメールでお知らせします。飼っている猫は対象外です。

- ▼WEB窓口 <https://fukuoka-neko.com/>
- ▼申込対象 当該地区に住所を有し、動物病院へ猫の搬送が可能な人
- ▼手術費用 メス1匹1万1千円(税込) オス1匹1万5千円(税込)
- ▼応募期限 5月15日(日)

福祉サービス苦情解決事業

福岡県運営適正化委員会では、在宅や福祉施設などで提供される福祉サービスに関する苦情の解決を図っています。福祉サービス利用時の苦情が事業所との話し合いで解決しない場合は相談ください。

- ▼とき 毎週月曜~金曜、9時~17時(祝日および年末年始を除く)
- ▼対象者 福祉サービスを利用している人やその家族、契約内容を把握している人
- ※相談は無料です。詳しくは問い合わせください。

☎ 福岡県運営適正化委員会事務局 ☎ 092-915-3511



添田町社会福祉協議会へ

- ▼香典返し
- ▼安東美恵子(下落合)
- ▼森茂文(一ノ宮)
- ▼岡宮子(下中元寺)
- ▼河野利枝(下中元寺)
- ▼花菱美智子(新城)
- ▼吉原正芳(新城)

(令和4年3月14日現在)

自衛隊採用試験

- ▼試験日 5月21日(土)
- ▼試験科目 一般曹候補生(定年制自衛官) 自衛官候補生(任期制自衛官)
- ▼受付期限 5月10日(火)
- ※詳しくは問い合わせください。
- ※自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所では、説明会を随時行っています。ご都合に合わせて個別説明や出張説明も可能です。気軽に問い合わせください。
- ☎ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 ☎ 0948-22-4847

公共職業訓練生(6月生)を募集します

離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の職業訓練です。

- ▼訓練期間 6月1日(水)~11月25日(金)
- ▼訓練科名 ものづくり溶接科
- ▼定員 15人
- ▼対象者 公共職業安定所(ハローワーク)に求職を申し込みしている人
- ▼受講料 無料(教科書・作業着などは自己負担)
- ▼募集期限 5月12日(木)



身体障がい者巡回相談

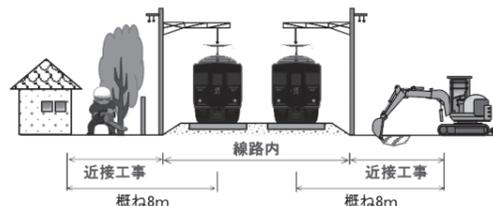
- ▼とき 5月30日(日)9時30分~
- ▼ところ 添田町体育館/要予約
- ▼内容 肢体不自由の補装具の支給・修理の要否判定やその他身体障がいに関わる相談



鉄道隣接工事にご注意を

鉄道に関する事故は、一歩間違えば、脱線事故や感電事故など大惨事を引き起こす可能性があります。建物や木の解体や木の伐採など、線路に近接した(線路内)から概ね8メートル以内の作業を行う場合は安全に関する打ち合わせをさせていただきますので、事前にJR九州に相談ください。

☎ JR九州筑豊篠栗鉄道事業部 ☎ 0949-22-0520



募金箱を設置しました

ウクライナでの人道支援のために救援金を募集

現在、ウクライナ各地で激化する戦闘により、多数の死傷者や避難民が発生し、深刻な被害が報告されています。このため町では、ウクライナでの人道支援のために救援金を募集します。

お寄せいただいた救援金は、日本赤十字社を通じてウクライナでの人道危機対応や、ウクライナからの避難民を受け入れる国々での救援活動を支援するために使われます。5月31日(木)まで役場ロビー(庁舎1階、住民課③番窓口前)に募金箱を設置しています。皆さまのご協力をお願いします。

☎ 役場総務課 ☎ 82-1231



選挙管理委員会からのお知らせ

選挙管理委員会委員と同補充員が決定しました

3月議会で、選挙管理委員会委員と同補充員が次のとおり決まりましたので、お知らせします。任期は、令和4年3月25日から令和8年3月24日までの4年間です。また、3月28日の選挙管理委員会で、山本文一さんが選挙管理委員長に決まりました。

◎選挙管理委員会委員

委員名	行政区
山本 文一	上中元寺
齊城 敬史	下落合
馬場 和弘	下津野
宮崎 陽子	町四

◎選挙管理委員会委員補充員

補充員名(順位)	行政区
加藤 庄司(1)	下落合
宮崎 和博(2)	上津野
船瀬かほる(3)	下中元寺
満倉ひとみ(4)	添田東

※補充員は、委員に欠員が生じた場合、順番に選ばれます。

☎ 町選挙管理委員会 ☎ 82-1231

Photo Contest 誰かに見せたい あなただけの添田!

第26回 添田町フォトコンテスト 入賞作品決定

町内の自然やイベントをテーマにした添田町フォトコンテスト。今回は、インスタ部門でも募集を行いました。特選1点・秀作6点・入選10点の入賞作品が決定しましたのでご紹介します。入賞作品は英彦山スロープカー花駅内に展示しています。



●特選(カメラ部門)
駅舎の春は(撮影地・彦山駅)
佐藤誠一さん(北九州市)

●秀作(カメラ部門)



錦秋の輝き
(撮影地・英彦山)
沖永稜彦さん(北九州市)



今年のクリン草
(撮影地・英彦山)
犬丸知子さん(嘉麻市)



石楠花の奥に絶景
(撮影地・英彦山)
love is beautiful dreamersさん(福岡県)



冬隣
(撮影地・鷹巣原高原)
合原繁利さん(川崎町)



銅鳥居ながめてひとやすみ
(撮影地・英彦山神宮参道)
酒井京子さん(北九州市)



青い空と白い花
(撮影地・英彦山(北岳))
tomo.0377さん(福岡県)

●入選/10点【カメラ部門】 ▶ 牟田元弘(北九州市) ▶ 高瀬重信(大野城市) ▶ 山本一義(添田町) ▶ 前谷慎治(福智町) ▶ 荒木隆宏(福智町) ▶ 大路里美(飯塚市) ▶ 福原良一(筑紫野市) 【インスタ部門】 ▶ 喜多由美子(北九州市) ▶ 土田海誓(札幌市) ▶ 三浦誠(北九州市) / 右上から・敬称略

●防災無線放送内容確認サービス (☎ 88-8555) 火災については、☎ 42-0119 におかけください。

広報
そえだ

令和4年4月号

4
2022



◇発行/添田町 ◇編集/総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎ 0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.sosedai.fukuoka.jp

◇印刷/丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています

